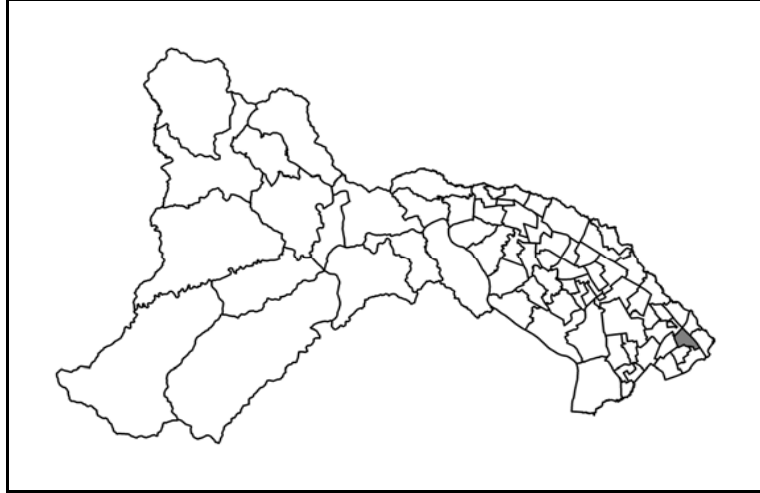


○地区を構成する町丁

【南区】上鶴間1丁目・2丁目・6丁目、相模大野7丁目～9丁目

○位置図



○地区自治会連合会名(自治会名)

大野南(自治会法人中和田, 自治会法人谷口, きずき, 南新町, 相模大野ハイライズ, パークスクエア相模大野)

○地区概況

地区の中央付近を深堀川が北から南に向かって流れており、河川沿いは地盤が低くなっている。北部では深堀川は地下水路となっているが、地表には浅い谷が見られる。東端に沿って国道16号が通っている。北端および西端はそれぞれ小田急小田原線、小田急江ノ島線に沿い、北端付近には相模大野駅がある。大部分は住宅地である。相模大野駅周辺はRC造の建物が多い。

○建物数・人口

建物		区分		建物 (棟数)
建物	木造(昭和55年以前)	489	棟	
	木造(昭和56年以降)	913	棟	
	非木造(昭和55年以前)	101	棟	
	非木造(昭和56年以降)	506	棟	
合計		2,009	棟	
人口		区分		人口 (人)
人口	0～4歳	724	人	
	5～64歳	10,387	人	
	65歳以上	1,881	人	
	合計	12,992	人	

○所見

- ・相模大野駅は利用客の多いターミナル駅で、通勤時等に不特定多数の人が多い。
- ・地区を縦断する浅い谷および深堀川の周辺は地盤が低く、坂道や階段が多い。
- ・富士山の大規模噴火時には2～30cmの降灰が予測されており、その場合、道路・鉄道の通行不能をはじめ、停電や取水停止など重大な被害を受ける。

○防災関連施設

市役所、まちづくりセンター、出張所等の主な公共施設	
警察署	
消防署	上鶴間分署
消防団詰所	
病院等	相模大野病院
主な災害時要援護者施設	幸園, 第二幸園
幼稚園、保育園	南大野幼稚園, くぬぎ台保育園分園, さいわい保育園
学校、大学	新町中学校, 南大野小学校
避難所 ※洪水時避難所兼用	新町中学校, 南大野小学校
洪水時避難所	
広域避難場所	
防災備蓄倉庫 ※広域避難場所対応	新町中学校, 南大野小学校
臨時ヘリポート	

○地震被害予測結果

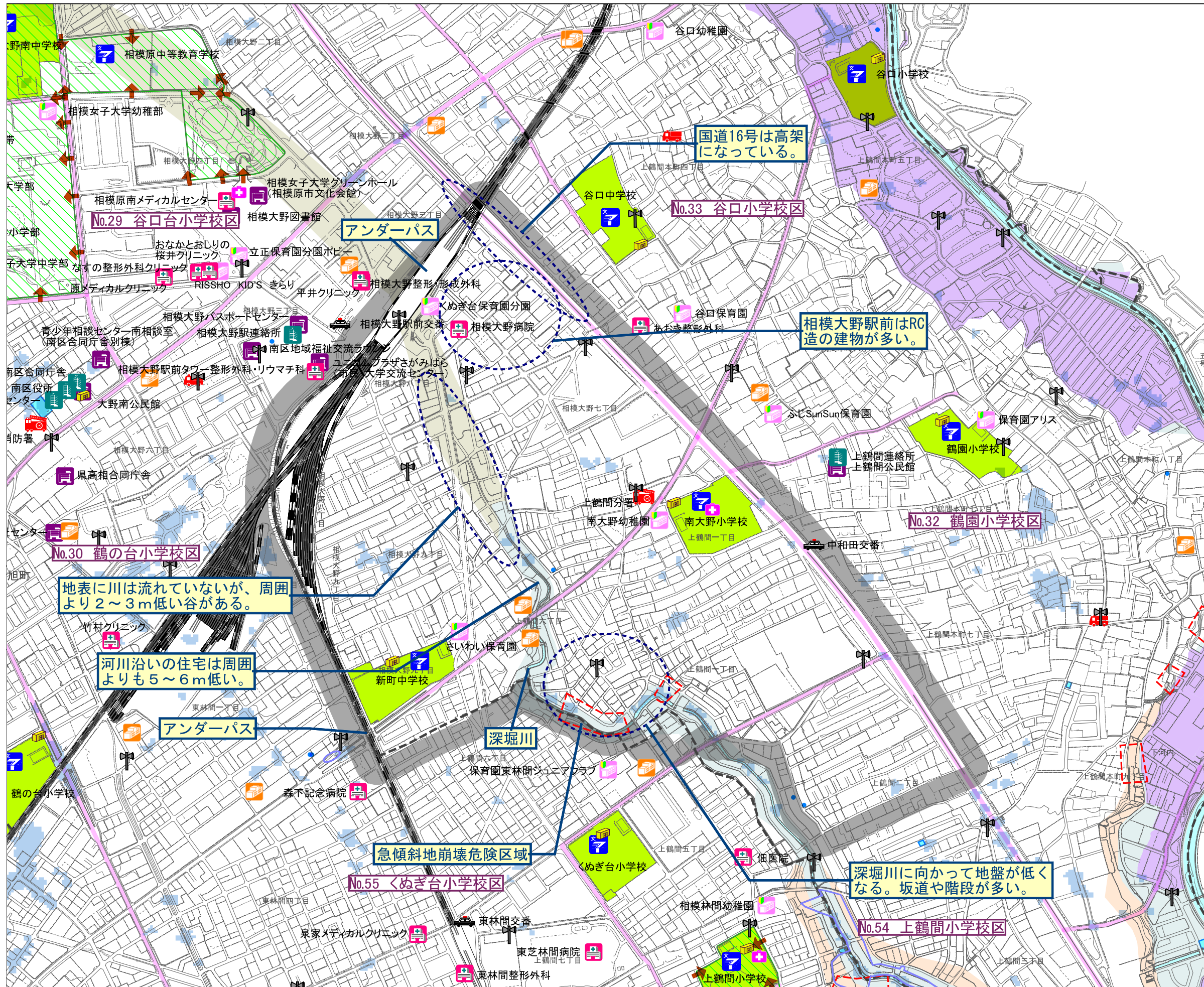
	東部直下地震		西部直下地震		大正関東タイプ地震	
	被害量	比率	被害量	比率	被害量	比率
建物全壊	104 棟	5.2 %	3 棟	0.2 %	22 棟	1.1 %
建物焼失	17 棟	0.8 %	1 棟	0.0 %	0 棟	0.0 %
死者	6 人	0.0 %	0 人	0.0 %	1 人	0.0 %
閉込者	54 人	0.4 %	3 人	0.0 %	11 人	0.1 %
重傷者	8 人	0.1 %	0 人	0.0 %	2 人	0.0 %
軽傷者	49 人	0.4 %	8 人	0.1 %	22 人	0.2 %
避難所避難者(当日)	419 人	3.2 %	37 人	0.3 %	109 人	0.8 %
避難所避難者(1週間後)	1,465 人	11.3 %	402 人	3.1 %	807 人	6.2 %

○災害危険度評価

危険度評価項目	→危険度が高い
水害	■■■■
土砂災害	■■■■
地震による地盤災害	■■■■
地震による建物被害、火災	■■■■

○近年の主な災害履歴

平成 3年 9月19日 床下浸水1戸  
平成 9年 8月25日 床上浸水1戸



### 凡例

#### 防災関連施設等

	市役所、まちづくりセンター等
	公民館、主な公共施設等
	警察署、交番、駐在所
	消防署
	消防団詰所
	病院等
	主な災害時要援護者施設
	幼稚園、保育園
	学校、大学
	避難所・洪水時避難所
	広域避難場所
	広域避難場所への車両進入可能箇所
	救護所
	防災備蓄倉庫
	ひばり放送塔
	雨水調整池
	臨時ヘリポート
	災害時協力井戸
	緊急輸送路
	小学校区境界
	地区自治会連合会境界

#### 地形分類

	山地・丘陵地
	低地
	台地
	台地上の浅い谷
	段丘崖
	山麓堆積地形・扇状地
	人工地形

#### 災害履歴

	浸水があったところ
	土砂災害があったところ

#### 災害危険箇所等

	重要水防区域
	浸水想定区域(河川氾濫)
	浸水想定区域(内水)
	浸水被害警戒地域
	土石流危険渓流
	土石流危険区域
	急傾斜地崩壊危険箇所
	地すべり危険箇所

#### 書き込み欄


みなさんが知っている防災の情報を記入しましょう(例: 浸水しやすいところ、防火水槽の位置など)



1:7500

